



北見工業大学

# 学報

平成17年7・8月 事務局総務企画課発行 第211号

## 慶尚大学校工科大学との短期交流研修を実施



(関連記事14ページに掲載)

Kitami Institute of Technology

---

## 目 次

---

入 試	平成18年度入学者選抜要項の公表	3
	平成18年度編入学試験（学力試験による選抜）の実施	5
研究助成	NEDO技術開発機構平成17年度産業技術研究助成金交付決定	5
	平成17年度民間等との共同研究の受入状況	6
	平成17年度受託研究の受入状況	7
	平成17年度奨学寄附金受入状況	8
人 事	人事異動	9
	新任者紹介	9
諸 報	オホーツク地域エネルギー環境教育研究会を設立	10
	子どもメディアフォーラム「インターネット子ども教室」を実施	10
	「オープンキャンパス」（大学説明会）の実施	11
	北見北斗高校とSPP事業を実施	12
	「おもしろ科学実験」開催	13
	慶尚大学校工科大学との短期交流研修を実施	14
	科学研究費補助金説明会を開催	15
	財務諸表等の開示	15
	平成17年度 北見工業大学技術部技術員研修開催される	18
日 誌	7月・8月	19

## =入試=

## 平成18年度入学者選抜要項の公表

(入 試 課)

平成18年度入学者選抜要項が7月に公表されました。概要は以下のとおりです。

## ○募集人員 (人)

学 科	入学定員	募 集 人 員		
		前期日程	後期日程	推薦入学
機械システム工学科	80	40	28	12
電気電子工学科	80	42	28	10
情報システム工学科	60	25	25	10
化学システム工学科	60	32	16	12
機能材料工学科	50	25	18	7
土木開発工学科	80	38	30	12
合 計	410	202	145	63

注 後期日程の募集人員には、各学科とも帰国子女特別選抜の募集人員若干人を含む

## ○選抜方法等

## 一般選抜

	前 期 日 程	後 期 日 程
選抜方法	大学入試センター試験の成績及び出身学校長から提出された調査書の内容を総合して行う。	大学入試センター試験の成績、本学が行う個別学力検査の成績及び出身学校長から提出された調査書の内容を総合して行う。
出願期間	平成18年1月30日(月)から平成18年2月7日(火)まで	
試 験 日	個別試験は課さない	平成18年3月12日(日)
合格発表	平成18年3月6日(月)	平成18年3月20日(月)

## 推薦入学

選抜方法	学校長より推薦された者について、調査書、推薦書の内容及び小論文、面接の結果を総合して行う。
出願期間	平成17年11月1日(火)～平成17年11月7日(月)
出願要件	高等学校若しくは中等教育学校を平成18年3月卒業見込みの者で、次の二つの条件を満たし、かつ志望学科への能力・適性等について学校長が責任を持って推薦できる者 ①高等学校若しくは中等教育学校における学習成績・人物ともに優れ、特に数学、理科の成績が優秀な者 ②志望学科の分野に強い勉学意識と関心を持ち、大学での学習において優れた成果が期待できる者
選抜期日	平成17年12月2日(金) (小論文・面接)
合格発表	平成17年12月14日(水)

## 帰国子女特別選抜

選抜方法	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、成績証明書等の成績、小論文、面接の結果を総合して行う。
出願期間	略
出願要件	平成17年11月1日(火)～平成17年11月7日(月)
選抜期日	平成17年12月2日(金) (小論文・面接)
合格発表	平成17年12月14日(水)

## ○試験教科・科目・配点

		教 科	科 目	配 点	合 計	
前 期 日 程	センター試験 (5教科7科目)	国 語	国語1科目	100	1000	
		社 会	地理歴史または公民から1科目	50		
		数 学	数Ⅰ，数Ⅰ・Aから1科目	300		
			数Ⅱ・B，工業数理基礎から1科目 注①			
		理 科	理科から2科目	300		
	外国語	外国語から1科目 注②	250			
個別学力検査	課さない					
後 期 日 程	センター試験 (5教科7科目)	国 語	前期日程と同じ	50	1000	
		社 会		50		
		数 学		100		
		理 科		100		
		外国語		200		
	個別学力検査	数 学		数学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，A，B，C		300
		理 科		物Ⅰ・物Ⅱ，化Ⅰ・化Ⅱから1科目		200

注①：工業数理基礎を選択できる者は当該科目の履修者等

注②：外国語のうち、英語にはリスニングテストを含む

## 平成18年度編入学試験（学力試験による選抜）の実施

平成18年度編入学試験（学力試験による選抜）が実施されました。  
各学科別の合格者数等は次表のとおりです。

学 科 名	募集人員	志願者	受験者	合格者
機械システム工学科	若干人	3	3	2
電気電子工学科		2	1	1
情報システム工学科		0	0	0
化学システム工学科		0	0	0
機能材料工学科		0	0	0
土木開発工学科		3	3	2
合 計		8	7	5

### = 研究助成 =

#### N E D O 技術開発機構平成17年度産業技術研究助成金交付決定

(研究協力課)

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付金額
機能材料工学科	助教授	石川 和宏	耐水素脆性に優れた非パラジウム系水素透過複相合金の研究開発	10,400千円

## 平成17年度民間等との共同研究の受入状況

平成17年8月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民間機関等名
機械システム工学科	教 授	羽二生博之	水中リハビリ支援システムの開発と実用化のための実証実験	美幌町民生部
機械システム工学科	教 授	佐々木正史	フラット型ソーラーサーマルコレクターの集熱性能評価研究	(株)ダイナックス
電気電子工学科	教 授	谷本 洋	高速アナログ回路技術	凸版印刷(株)エレクトロニクス事業本部半導体関連事業部
木質系バイオマスエネルギー高度利用研究推進センター	教 授	鈴木 勉	バイオマス資源のリサイクル燃料製造に関する研究	RISCARBO(株)
機能材料工学科	助教授	宇都 正幸	農業用資材梱包用ポリマーの耐寒性試験研究	ホクレン包材(株)
電気電子工学科	教 授	平山 浩一	FEM法を用いたメタマテリアル設計CAE技術の開発	(株)豊田中央研究所
電気電子工学科	助教授	柏 達也	FDTD法を用いたメタマテリアル設計CAE技術の開発	(株)豊田中央研究所
土木開発工学科	教 授	鈴木 輝之	ダイヤプロテクトによる芝のり面の凍上被害防止	三菱化学産資(株)
機能材料工学科	教 授	青木 清	複相金属型水素透過合金膜の研究開発	日立金属(株)先端エレクトロニクス研究所
化学システム工学科	助教授	山田 哲夫	建築廃材中の繊維状物質(石綿)成分の定性・定量	(株)環境リサーチ
電気電子工学科	教 授	谷本 洋	無線通信用アナログ回路技術	(株)東芝研究開発センター
電気電子工学科	助教授	菅原 宣義	送電線の落水対策技術に関する研究	東京電力(株)
機械システム工学科	教 授	大橋 鉄也	転位の運動モデルと結晶の変形との連成モデルによる鋼の衝突特性予測手法の開発	(株)豊田中央研究所
化学システム工学科	助 手	船木 稔	昆布藻塩の量産化に関する研究	北見市(幌内食品(株))
機械システム工学科	教 授	富士 明良	凍結路面滑り止め生分解性びり砂利の製造方法と色彩改善	北見市(株)北翔システム
機械システム工学科	助教授	鈴木聡一郎	RTK-GPSを利用した非接触型自動測量システムの開発	北見市(株)オホーツク位置情報サービス

平成17年度累計 54件

## 平成17年度受託研究の受入状況

平成17年8月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究担当者	研究 題 目 及 び 研 究 期 間	受託機関	所要経費 円
土木開発工学科	助教授	早川 博	北方圏での分布型流出モデルの開発と適用 (～平成18年3月31日)	(独) 科学技術振興機構	921,700
機能材料工学科	教 授	高橋 信夫	永久凍土地帯のメタンハイドレートの安定性と生成解離に係るNMR法によるガスハイドレートの安定性と構造に関する研究 (～平成18年2月28日)	(独) 産業技術総合研究所	881,000
機器分析センター	助教授	南 尚嗣	平成17年度GEMS/Waterベースラインモニタリング委託業務 (～平成18年2月28日)	(独) 国立環境研究所	4,700,000
電気電子工学科	教 授	山城 迪	太陽光発電融雪システムの運転評価研究(～平成18年3月31日)	株式会社 きんでん 京都研究所	945,000
土木開発工学科	教 授	川村 彰	ドライビングシミュレーター (DS) を用いたパネラー評価手法の検討 (平成17年9月1日～10月31日)	東 エ ン 株 式 会 社	840,000
化学システム工学科	教 授	多田 旭男	平成17年度地域新生コンソーシアム研究開発事業「バイオメタンのナノ炭素化技術及び炭素系複合導電材料の開発」 (～平成18年3月31日)	(財) 室 蘭 テクノセンター	3,321,150
国際交流センター	教 授	山岸 喬	平成17年度地域コンソーシアム研究開発事業「タマネギの新規有用成分を利用した機能性食品の開発」 (～平成18年3月31日)	(社) 北見工業技術 センター運営協会	1,497,300

平成17年度累計 7件

## 平成17年度奨学寄附金受入状況

平成17年8月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研 究 者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額 <sup>円</sup>
機器分析センター	助教授	南 尚嗣	「次世代鉄鋼迅速オンサイト分析の実用化」の研究に対する助成	社団法人日本鉄鋼協会	300,000
土木開発工学科	教 授	森 訓保	岩石の力学特性に関する基礎的研究	(株)中神土木設計事務所	63,000
電気電子工学科	助教授	村田 年昭	発電制御に関する研究助成	(株) K R I	150,000
土木開発工学科	教 授	大島 俊之	道路構造の防災対策の検討	(財)北海道道路管理技術センター	300,000
土木開発工学科	教 授	鈴木 輝之	道路構造の防災対策の検討	(財)北海道道路管理技術センター	300,000
化学システム工学科	助 手	船木 稔	プエラリア・ミリフィカの分析に関する研究	(有) きらら	200,000
国際交流センター	教 授	山岸 喬	工学研究のための助成	共成製薬(株)	700,000
国際交流センター	教 授	山岸 喬	工学研究のため	(株)カイゲン	700,000
機械システム工学科	教 授	二俣 正美	工学研究のため	大阪ガス(株)	1,000,000
電気電子工学科	教 授 教務職員	田村 淳二 高橋 理音	「風力発電を含む系統の系統安定度解析および向上方策に関する研究」	北海道電力(株)	1,000,000
電気電子工学科	教 授	山城 迪	「分散型電源が多数系統に連係された場合の系統上の問題に関する研究」	北海道電力(株)	1,000,000
未利用エネルギー研究センター	教 授	庄子 仁	研究助成	清水建設(株)	1,500,000
電気電子工学科	教務職員	高橋 理音	「大規模電力系統の安定運用に向けた風力発電システムのシミュレーション技術開発」に対する研究助成	(財)実吉奨学会	1,000,000
土木開発工学科	助 手	館山 一孝	工学研究のため	館山 一孝	100,000
土木開発工学科	教 授	高橋 修平	寒冷地工学研究のため	陸別町しばれ技術開発研究所	500,000
北見工業大学	学 長	常本 秀幸	北見工業大学における学術振興・国際交流等事業に対する助成のため	北見工業大学大学における学術振興・国際交流等事業を支援する会	1,449,265
化学システム工学科	教 授	福井 洋之	工学研究のため	福井 洋之	1,000,000

平成17年度累計 38件



## =人事=

## 人 事 異 動

(総務企画課)

## ○大学発令

発令年月日	現 職 名	氏 名	異 動 内 容
17. 8. 1	(新規採用)	鞘 師 守	地域共同研究センター教授

## 新 任 者 紹 介

○地域共同研究センター教授に <sup>さやし</sup>鞘師 <sup>まもる</sup>守 氏

- 昭25. 4. 25生  
 昭55. 3 早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程修了  
 55. 3 工学博士 (早稲田大学)  
 55. 4 日産自動車(株)中央研究所 (現・総合研究所)  
 平 2. 7 " 主任研究員  
 10. 7 " 主管研究員  
 17. 8 北見工業大学地域共同研究センター教授



## = 諸報 =

**オホーツク地域エネルギー環境教育研究会を設立**

(教務課)

今年度、本学がエネルギー教育調査普及事業（経済産業省資源エネルギー庁の委託を受けた、財団法人社会経済生産性本部・エネルギー環境教育情報センターの公募事業）の「地域拠点大学」として採択されたことを受けて、その中核となる組織として、このほど「オホーツク地域エネルギー環境教育研究会」を設立しました。

去る7月28日(木)に第1回の研究会を本学で開催し、委員長には本学機械システム工学科佐々木教授が、副委員長には、機能材料工学科松田教授が選出されました。

この研究会は、北見市、同教育委員会、市内の小・中・高校の教員、エネルギー関係企業、報道関係等の学外委員12名及び本学の教員9名の総勢21名で構成されています。

今後の活動としては、エネルギー環境教育に関する実践教育のための教材作成及び地域住民のエネルギー環境問題に対する関心を高めるための講演会・シンポジウム等を実施する予定です。



第1回オホーツク地域エネルギー環境教育研究会

**子どもメディアフォーラム「インターネット子ども教室」を実施**

(教務課)

文部科学省が平成16年度から「地域子ども教室推進事業」の一環として実施している「インターネット子ども教室」を、7月28日から8月8日までの間6回（12講座）、本学のCALL教室において実施しました。

教室には、市内の小学4年生から6年生までの

児童17名が参加し、本学の情報システム工学科の先生及びTA学生の指導を受けながら、テキストに沿ってインターネットの利用マナー及び作品作成・編集等について体験しました。

最終日には、修了書が手渡され、夏休み中の貴重な体験に満足げでした。



TA学生の熱心な指導



真剣にパソコンに向かう子どもたち

## 「オープンキャンパス」(大学説明会)の実施

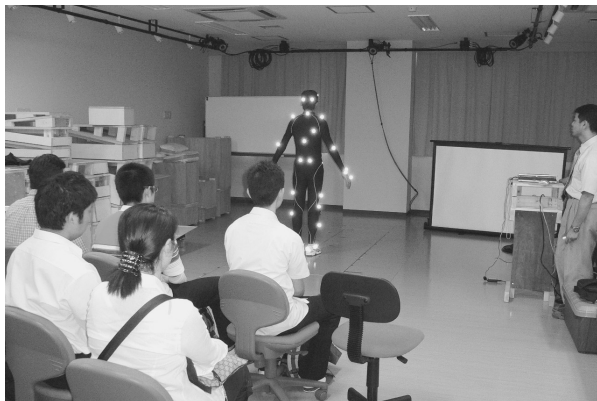
(入試課)

7月30日(土)に大学進学を希望する高校生等を対象とした大学進学説明会が開催され、道内外から高等学校教諭、父母等を含む136人(昨年度より23人増)が参加しました。前日からの雨が心配されましたが、当日は天候にも恵まれ、参加者は熱心に体験授業等に取り組んでいました。

学長挨拶、高橋副学長による入試関連事項の

説明、その後、各学科において体験学習が行われました。昼食をはさみ、特別企画として、生協食堂において「工大生による学生生活相談」が実施されました。

参加者からは、「普段見られない機材が見られて、興味をもてた」「大学生活の様子を知ることが出来た」等、おおむね好評な感想が得られました。



体験学習①



体験学習②



施設見学



工大生による生活相談

## 北見北斗高校とSPP事業を実施

(教務課)

8月1日～2日の2日間、文部科学省のサイエンス・パートナーシップ・プログラム（SPP）事業により北見北斗高等学校との教育連携講座を実施しました。

今年で3回目となる本事業のテーマは、「光のふしぎ ～光の反射・屈折からホログラムまで～」で、情報システム工学科の原田建治助教授が中心となって講義及び実験を実施しました。

両日とも、同校の1・2年生を中心に20名を大

学に招いて、高校で学ぶ光から、大学で学ぶ光学まで、光の反射・屈折、干渉、回折、散乱、分散、偏光に関する講義・実験及び大学で学習する範囲である偏光（複屈折）、ホログラムに関する講義・実験を行いました。

最後に、班ごとの実験結果や2日間の講義・実験の感想を報告してもらい、高校生たちは、光学を視覚的、直感的に理解し光学に関する研究にも興味や関心を高めることができました。



光の講義を行う原田助教授



班ごとの感想及び報告をする生徒

## 「おもしろ科学実験」開催

(総務企画課)

楽しい実験やもの作りを通じて子供達に科学の魅力を知ってもらうことを目的として、去る8月6日(土)、平成17年度の大学等開放推進事業「おもしろ科学実験」が実施されました。

今年で6回目を迎える今回は、1号館改修に伴い会場を体育館や武道館などに分散し、中学生向けのテーマを設定するなど、全16テーマで実施されました。

当日は厳しい暑さのなか、午前10時及び午後2時からの2回行われ、網走管内の小・中学校78校から347名の参加があり、この中には夏休みで帰省中の本州の小中学校からの参加者もありました。

子供達は実験テーマ別に分かれ、本学教職員から実験の説明や学生の指導のもと、真剣な眼差しで2時間あまりの実験に取り組み、実験終了後は、テーマ責任者から授与された修了証書を手にも、短い夏休みの一日を「一日科学者」として満喫した様子でした。



氷の結晶を見ようと真剣に取り組む(熱心な)子供達

### ■実験テーマ■

機械システム工学科
紙飛行機から学ぶ飛行のしくみ
①氷のスタンドグラス ②熱を絵で見よう
電気電子工学科
身近なもので電池を作ろう
発光ダイオードで電子ホタルを作ろう
情報システム工学科
コンピュータでロボットを動かしてみよう!
虹を作ろう
ちょっと高度な移動ロボットと遊んでみよう!
化学システム工学科
臭い・色を消そう
生命の設計図を見る! 触る!
-サケの白子からのDNA抽出-
機能材料工学科
微小カプセル(マイクロカプセル)を作ろう
空気であそぼう!
土木開発工学科
「交通(こうつう)バリアフリー」ってなに?
雲をつくり、雪をふらせよう
氷の結晶(けっしょう)を観察(かんさつ)する
技術部
モーターを作ろう
紙コップスピーカーを作ろう



あつ、聞こえたヨ…!



あれ〜! 色が消えてきたゾ〜!

## 慶尚大学校工科大学との短期交流研修を実施

(研究協力課)

本学と学術・教育交流協定を締結している韓国の慶尚大学校工科大学から、短期交流研修として学生10名と引率教職員2名が来学し、8月17日(水)から24日(水)までの間、講義、学内及び市内施設見学、市民との交流、研修旅行の日程を修了し帰国しました。

22日に行われた国際ナショナルコーヒーアワーでは、ホストファミリーや市民約50人が参加しました。研修生は、韓国の国民的スポーツのテコンドーの型を披露したり、伝統衣装の

チマチョゴリをまとい、米で作った韓国のもち「ハンフェ」を参加者に振る舞いました。

閉講式では、研修生全員に対して学長から修了証書と記念品が授与され、引き続き行われた送別会では本学教員、学生、ホストファミリーを交え、別れを惜しみながら再会を約束していました。

この交流研修は、平成11年度から両大学間で相互に実施することとしており、来年は本学の学生が訪韓する予定です。



機器分析センターで説明を受ける研修生



韓国の楽器 タンソを披露する研修生



## 科学研究費補助金説明会を開催

(研究協力課)

7月25日(月)、総合研究棟多目的講義室において科学研究費補助金説明会を開催しました。

講師には文部科学省研究振興局学術研究助成課吉田課長補佐をお招きし「科学研究費補助金の現状と将来」と題して、科学研究費補助金の制度、応募に当たっての留意点、不正経理の防止等について具体例を交え説明が行われました。



説明会に先立つての学長挨拶

説明会には、本学をはじめ、日本赤十字北海道看護大学、北海学園北見大学、東京農業大学の教職員70名が参加しました。

説明の後の質疑応答では、経費の使用について、採択に結びつく計画調書の書き方など、活発な質疑応答が行われました。



説明会場の様子

## 財務諸表等の開示

(財務課)

国立大学法人法に基づき、平成17年8月29日付けで文部科学大臣の承認を受けた平成16(第1期)事業年度の財務諸表(附属明細書を含む。)及び関係書類を、本学ホームページの情報公開(<http://www.kitami-it.ac.jp/pubdoc/system/>

[zaimu/index.htm](http://www.kitami-it.ac.jp/pubdoc/system/zaimu/index.htm))に登載しましたのでお知らせします。

また、財務諸表の一部である「貸借対照表」と「損益計算書」について、次のとおり掲載します。

## 貸借対照表

平成17年3月31日

(単位:円)

資産の部				
I 固定資産				
1 有形固定資産				
土地		1,560,686,000		
建物	4,452,466,736			
減価償却累計額	▲ 272,011,356	4,180,455,380		
構築物	220,075,645			
減価償却累計額	▲ 32,408,933	187,666,712		
機械装置	38,259,113			
減価償却累計額	▲ 5,367,511	32,891,602		
工具器具備品	1,157,949,341			
減価償却累計額	▲ 343,302,821	814,646,520		
図書		1,013,162,315		
美術品・収蔵品		375,030		
船舶	995,000			
減価償却累計額	▲ 257,492	737,508		
車両運搬具	6,161,905			
減価償却累計額	▲ 1,181,136	4,980,769		
	有形固定資産合計	7,795,601,836		
2 無形固定資産				
ソフトウェア		51,745,037		
その他の無形固定資産		845,000		
	無形固定資産合計	52,590,037		
3 投資その他の資産				
長期前払費用		14,000		
	投資その他の資産合計	14,000		
	固定資産合計		7,848,205,873	
II 流動資産				
現金及び預金		842,366,051		
未取学生納付金収入	18,926,400			
徴収不能引当金	▲ 4,591,080	14,335,320		
前払費用		1,091,633		
その他の流動資産		4,684,208		
	流動資産合計		862,477,212	
	資産合計		8,710,683,085	
負債の部				
I 固定負債				
資産見返負債				
資産見返運営費交付金等	243,967,982			
資産見返寄附金	25,205,962			
資産見返物品受贈額	1,373,730,215	1,642,904,159		
長期借入金		1,320,397,332		
リース長期未払金		4,582,058		
	固定負債合計		2,967,883,549	
II 流動負債				
運営費交付金債務		56,858,624		
寄附金債務		320,451,588		
前受受託研究費等		388,611		
預り金		37,443,069		
一年以内返済予定長期借入金		660,198,668		
未払金		492,549,869		
リース未払金		93,501,943		
未払費用		15,843,124		
未払消費税等		3,380,000		
	流動負債合計		1,680,615,496	
	負債合計		4,648,499,045	
資本の部				
I 資本金				
政府出資金		4,333,203,935		
	資本金合計		4,333,203,935	
II 資本剰余金				
資本剰余金		41,719,802		
損益外減価償却累計額		▲ 390,642,457		
	資本剰余金合計		▲ 348,922,655	
III 利益剰余金				
当期末処分利益		77,902,760		
(うち当期総利益)		77,902,760		
	利益剰余金合計		77,902,760	
	資本合計		4,662,184,040	
	負債資本合計		8,710,683,085	



## 損益計算書

自/平成16年4月1日 至/平成17年3月31日

(単位:円)

経常費用			
業務費			
教育経費	301,357,477		
研究経費	532,713,780		
教育研究支援経費	140,062,579		
受託研究費等	124,579,426		
受託事業費等	2,454,412		
役員人件費	52,899,132		
教員人件費	1,678,029,433		
職員人件費	1,021,592,859	3,853,689,098	
一般管理費		239,376,537	
財務費用			
支払利息	9,900,343	9,900,343	
	経常費用合計		4,102,965,978
経常収益			
運営費交付金収益		2,476,595,541	
授業料収益		1,073,025,199	
施設費収益		4,234,652	
入学金収益		156,763,800	
検定料収益		41,416,600	
受託研究等収益		129,567,979	
受託事業等収益		2,454,412	
寄附金収益		79,629,070	
資産見返負債戻入		164,930,528	
財務収益			
受取利息	9,886	9,886	
雑益			
財産貸付料収入	18,372,247		
講習料収入	114,000		
文献複写料収入	269,160		
研究関連収入	7,230,000		
大学入試センター試験実施経費収入	4,643,361		
その他の雑益	3,397,464	34,026,232	
	経常収益合計		4,162,653,899
経常利益			59,687,921
臨時損失			
固定資産売却損		65,301	
災害損失		793,860	
承継消耗品費		289,275,117	290,134,278
臨時利益			
債権受贈益		19,074,000	
消耗品受贈益		289,275,117	308,349,117
当期純利益			77,902,760
当期総利益			77,902,760

## 平成17年度 北見工業大学技術部技術員研修開催される

(技 術 部)

平成17年度北見工業大学技術部技術員研修が8月30日(火)・31日(水)の2日間にわたりSCS教室及びA103教室等を会場に実施されました。

この研修は、技術員の職務に関する必要な知識等を広く修得させ、資質の向上を図ることを目的として実施され、技術員36名が受講しました。

研修では、学内外講師による講演及び救命処置の実習、技術員によるポスターセッション発表会が行われました。この中で日頃の業務内容・技術報告等を発表するポスターセッションでは、技術部の役割を学内において認識する一環として学内公開の形態で実施し、ほぼ全員の技術員が発表しました。



実習 『救命処置』



ポスターセッション

## =日誌=

(総務企画課)

- |      |   |      |                                     |
|------|---|------|-------------------------------------|
| 7月2日 | 第52回北海道地区大学体育大会<br>(ハンドボール) (～3日)             | 8月1日 | 企画運営会議                              |
| 4日   | 企画運営会議  |      | サイエンス・パートナーシップ・プログラム (SPP) 事業 (～2日) |
| 6日   | 編入学試験 (学力による選抜)                               | 3日   | 第6回教育研究評議会                          |
| 7日   | 第5回教育研究評議会                                    |      | インターネット子ども教室 (～8日)                  |
| 11日  | 企画運営会議  | 6日   | おもしろ科学実験                            |
| 12日  | 入学者選抜委員会<br>中小企業家同友会連携プログラム委員会                | 9日   | 発明審査委員会                             |
| 13日  | 第12回教授会<br>編入学試験 (学力による選抜) 合格発表               | 12日  | 情報システム運営委員会                         |
| 15日  | 地域連携推進委員会<br>発明審査委員会                          | 17日  | 慶尚大学校工科大学短期交流研修 (～24日)              |
| 25日  | 科学研究費補助金説明会                                   | 22日  | 平成17年度秋季・平成18年度大学院博士前期課程入学試験 (～23日) |
| 26日  | 附属図書館委員会                                      | 24日  | 平成17年度秋季・平成18年度大学院博士後期課程入学試験        |
| 27日  | 学生委員会   | 26日  | 発明審査委員会                             |
| 28日  | 第1回オホーツク地域エネルギー環境教育研究会<br>インターネット子ども教室 (～29日) | 29日  | 企画運営会議                              |
| 30日  | オープンキャンパス                                     |      |                                     |

北見工業大学学報 第211号 平成17年7・8月発行  
国立大学法人北見工業大学  
事務局総務企画課  
〒090-8507 北見市公園町165番地  
TEL: (0157) 26-9116  
FAX: (0157) 26-9122  
E-mail:soumu05@desk.kitami-it.ac.jp  
本報は、インターネットでもご覧いただけます。  
<http://www.kitami-it.ac.jp/issue/gakho.htm>



再生紙使用